

パンデミック中も支えられて (年取るといふこと日誌から)

CL教育研究会 遠間美保子
amhotm@gmail.com <https://docl.jp>



2020/09/28

七十歳近くになったころ、朝の歯磨きの時、自分の歯が以前より小さくなっているのに気づいた。歯医者さんに診てもらおうと、上下のかみ合わせが強く、徐々にすり減ってきたとのこと。その日から就寝時には上か下の歯にマウスピースをはめるようになった。朝にはずして、石鹸で洗い、ティッシュで拭いて専用のケースにしまう。新しい習慣が増えた。

ところが今朝は洗濯機の操作を急いで、ティッシュにくるんだままケースの横に置いた。夜、床に入って、ケースを開けるとマウスピースがない。使い捨てのティッシュを食べ物の小さいゴミ袋に「ありがとう」も言わずに放り入れたのを思い出し、布団から出て、キッチンに駆け込んだ。ボールにゴミを開けて探したがない。紙屑籠にもない。ごみの収集日は2日先なので、とにかく、ふとんに戻った。気にはなったが、♪明日は明日の風が吹く♪ 風に飛ばされなければいいけどと眠りについた。(翌日無事みつかりました)。

2020/10/02

家から外に出ると環境はがらりと変わっておもしろくなる。気候の変化が激しい昨今だが、金木犀は10月1日を迎えると毎年花をつける。曼殊沙華もお彼岸になると残暑であろうが、涼しくなっても真っ赤な花が目を楽しませてくれる。きのうは白っぽかった金木犀がどの木も黄色味を帯び咲いているようだ。香りが薄いと感じて近くに寄ってよくみると、小さな花はまだほころんでなく、明日には一斉に開いて町中に香りが広がるにちがいない。明日も外にでるのが楽しみになる。

外では珍しいものにも出会う。高い木の上の枝に細い首を伸ばした鳩が一羽止まっている。長くのぼしているのか、見たことがないほど細長い。

そうか、ついこの間まで猛暑の中、汗をかきかき歩いていたが、突然秋がやってきて、からっとした空気、涼しく、そよ風が気持ちよい。これこそ夏場の努力が功を奏して、心地よい環境のごほうびが贈られたにちがいない。夜は中秋の名月で3、4日満月が煌々と見える。地球は日本は美しい。この有り難みをゆっくり味わおう。

2020/12/12

暮れ、朝9時半過ぎだが、週末は人通りが少なく、ウォーキングしやすい。近隣の一軒家が植木ごと取り壊されて更地になって、広い敷地に3軒分の家の土台がコンクリートで固められた。角面の一軒ではすでに鉄骨の足場を組んでいる。2階屋根の高さに、2メートルの長さの細い鉄棒を横に渡して、そこをサーカスの綱渡りのように縦の鉄棒から向かいの鉄棒に向かって、若い職人さんが一瞬手を放してすり足で渡る。見ている方がヒヤッとして見上げる。建築現場のはず向かいで若い植木職人さんが、脚立の一番上に片足をかけ、一方を植木の枝にかけて、枝を刈っている。どちらも軽業師のような動きに感嘆した。気持ちは真似してみたいが、この体力では到底不可能と試してみないで限界を認めた。

(千葉県市川市CLインストラクター)